



糖尿病の三大合併症について

健診などで高血糖を指摘されても自覚症状がないためそのまま放置される方がいます。

しかし高血糖の状態がつづくといわれる「三大合併症」を発症する危険があります。三大合併症とは・・・

糖尿病性網膜症・・・

ヒトの眼の構造はよくカメラに例えられます。 レンズの役目を果たするのが水晶体で、フィルムの役目を果たするのが網膜です。 この網膜が長年の高血糖によって障害を受けると糖尿病性網膜症となります。 手当が遅れると失明につながります。

糖尿病性腎症・・・

腎臓の一番大切な働きは血液中の老廃物や不要物を尿中に排泄することですが、この働きが失われると尿毒症となってしまいます。 尿毒症になると人工透析をうけないと生きていくことが出来なくなります。 透析を受けながら社会で活躍している方も多くおられますが、それでもふつうでは想像できないほどの苦勞や制約を伴うことは避けられません。

糖尿病性神経障害・・・

糖尿病性神経障害の最も典型的な初期症状は、両足の裏のしびれです。 やがて、しびれはだんだん上の方へと広がり始め、両手指も先端からしびれ始めます。 ひどくなると殆ど痛みを感じなくなり、足にけがをしていても気づかなかつたりする恐れがあります。 足が腐って切断しなければならなくなる糖尿病性壊疽の多くは、神経障害で知覚鈍麻をきたした足に小さな傷が出来ることから始まります。

神経障害が進むと、運動神経や自律神経も障害を受けます。 運動神経が障害を受けると、足の力が入りにくくなったり、腓返りが起こりやすくなったりという症状が出ます。 自律神経は体の内蔵機能を調節する神経で、これがやられると血圧や脈拍の調節バランスが崩れて起立性低血圧（立ちくらみ）をおこしたり、腸管の運動に異常を来して便秘や下痢を繰り返すようになったり、膀胱の働きに異常を来して排尿ができなくなったりする恐れがあります。 糖尿病によるインポテンツも神経障害が関与しています。



糖尿病は自覚症状がないまま悪化します。 定期的な検査を受け異常が認められた場合は速やかに医療機関を受診して必要な指導・治療を受けてください。



京都大学院 医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学 オンライン糖尿病教室 より引用

お近くのあすなる薬局にご相談ください。

どこの病院・診療所の処方せんにも対応できます。(お薬によっては時間がかかることがあります)

薬・健康食品・サプリメント等についてのご相談を受け付けています。

(甲府)055-228-4024 (巨摩)055-283-3050 (石和)055-263-1568 (武川)0551-26-3800 (大月)0554-20-1301